

0380 | 民芸論

2 単位（通信授業 2 単位）

玉蟲敏子教授、杉山享司講師

授業の概要と目標

柳宗悦の民芸論が、どのような経緯で生れたかといったことを、先づ『白樺』に発表された初期の柳の諸論文に当たって考察していただきたく考える。次いで、柳が純粋美術から工芸へ関心を向けるきっかけになった李朝工芸の美を、美術館や古美術店などで鑑賞して、柳の追体験のようなことをしていただきたい。その上で、日本の民衆的工芸品へ関心を向けていただき、柳の言う民芸とは何かについて、柳の論文と実際の物を照らし合わせて考察してもらおう。そして、未来の民芸の有ようについて各自の考えを述べていただきたく考える。

課題の概要

○通信授業課題 1

「私的民芸論」という論文を提出して下さい。

○通信授業課題 2

居住地域あるいは居住する近隣地域で、あなたが民芸と考える品物の製作現場を訪ねて、その仕事の調査を行い、現在の状況等々を報告して下さい。現場に関する写真を必ず添えて下さい。

* 課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書以外の参考図書の読後感想を最低一冊は示してもらい、質疑応答の形式で、民芸の理解を深めていただきたく考える。

成績評価の方法

◎科目試験

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：柳宗悦『民藝とは何か』（講談社学術文庫）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）

その他

参考文献：『民芸大鑑（5 巻）』（筑摩書房）

『柳宗悦全集（22 巻）』（筑摩書房）

水尾比呂志『評伝柳宗悦』（筑摩書房）

柳宗悦『民芸四十年、工芸文化、手仕事の日本、民芸紀行、美の法門』（岩波文庫）

尾久彰三『民芸と Mingei』（晶文社）

尾久彰三『観じる民藝』（世界文化社）

鶴見俊輔『柳宗悦』（平凡社ライブラリー）

中見真理『柳宗悦』（岩波新書）

志賀直邦『民藝の歴史』（ちくま学芸文庫）